

○【資料】 一般社団法人日本森林学会プレスリリース文

○【資料】 2017年度林業遺産登録一覧表

○【日本森林学会の林業遺産についての問合せ先】

〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内

TEL/FAX 共用 03-3261-2766

E-mail: [office@forestry.jp](mailto:office@forestry.jp)

# 一般社団法人 日本森林学会 「林業遺産」 2017年度8件を選定しました

## 事業の背景と経緯

日本各地の林業は、地域の森林をめぐる人間の営みの中で編み出され、明治期以降は海外の思想・技術も取り入れながら、大戦期の混乱を経て今日に至るまで、多様な発展を遂げてきました。

日本森林学会では、学会100周年を契機として、こうした日本各地の林業発展の歴史を、将来にわたって記憶・記録していくための試みとして、「林業遺産」選定事業を2013年度から開始致しました。

5年目となった2017年度は、全国各地から計12件の応募があり、そのうち8件を林業遺産(登録No.24~31)として認定しました。選定結果は、2018年5月29日の日本森林学会定時総会に併せて公表され、認定証・記念品が各件の所有者・管理者に贈呈されました。

## 問い合わせ先など

事業推進責任者：日本森林学会 会長 中村 太士

林業遺産選定委員長 佐藤 宣子

広報責任者：日本森林学会 総務理事 堀 靖人

林業遺産選定委員会 事務局委員 竹本 太郎

学会事務局：〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内

Tel&Fax:03-3261-2766

...詳細情報については、学会ウェブサイト「林業遺産」もご参照下さい。

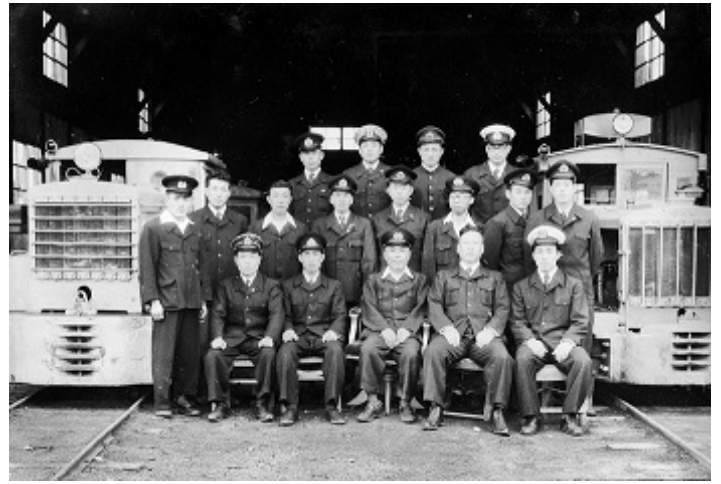
<http://www.forestry.jp/activity/forestrylegacy/>

## 2017年度林業遺産(No.25)

# 我が国初の森林鉄道「津軽森林鉄道」遺構群及び関係資料群



津軽森林鉄道の写真類



津軽森林鉄道は、動力車による牽引を前提とする日本で最初の森林鉄道で、明治42(1909)年11月30日に竣工した。青森市沖館の青森貯木場を起点とし、全長は本線だけで67kmにおよび日本で建設された全森林鉄道の中で最長を誇る。また、51路線の支線、分線を含めた総建設延長は283km、実運用最大延長は昭和33年の235kmであり、これらも日本最大である。

また、森林鉄道の動力車として最初に導入されたボールドウィン社製蒸気機関車は、その後、各地の森林鉄道において活躍した。なお、分水嶺を越える路線としても最初のものであり、2本の隧道が設けられるなど、その後の森林鉄道建設の基準となった。

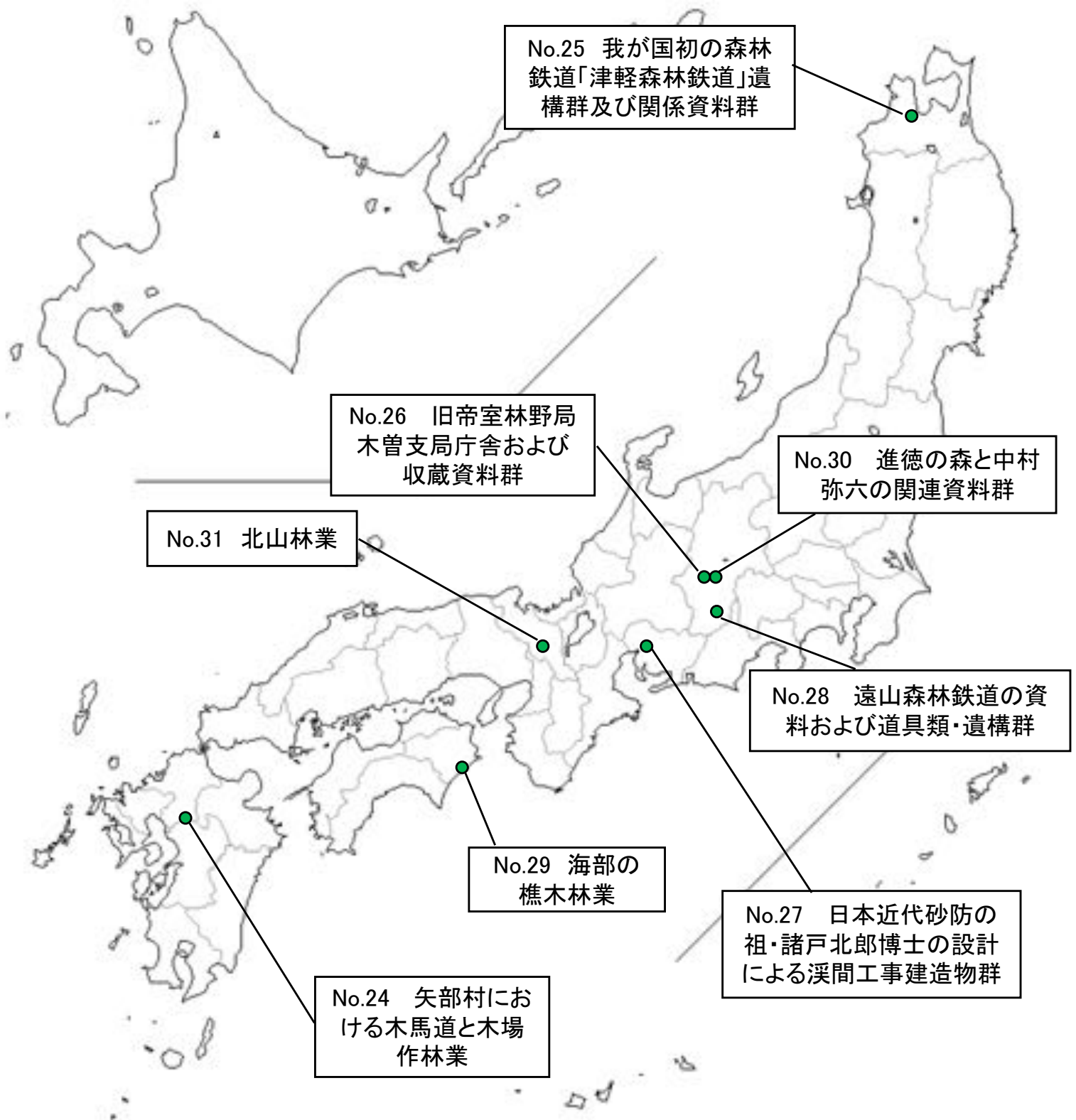
現在、本支線の軌道跡、相ノ股隧道、ヒバ製及び鋼製橋梁等の遺構が豊富に確認され、ディーゼル機関車、客車なども保存されていることに加え、開設当初からの林道台帳および図面や写真類が多数保存されている。最近では、NPOによって森林鉄道遺構を巡る「奥津軽トレイル」が設定されるなど地域活性化の対象としても見直されており、遺構や車輛、資料群に林業遺産の価値が十分にあるとして選定した。

**認定対象:** 【搬出関連】相ノ股隧道、ヒバ製及び鋼製橋梁等の主要遺構、幹部視察用客車あすなろ号、協三工業4.8t内燃機関車、モノコック鋼製運材台車、六郎隧道扁額  
【資料群】関係営林署別旧林道台帳、津軽森林鉄道関連地図、実測図面類、写真類

**所在:** 青森県青森市、五所川原市、東津軽郡外ヶ浜町、同蓬田村、北津軽郡中泊町

今回の選定によって、登録された林業遺産は31件に達しました。  
2018年度以降も当事業は継続して参りますので、各地からの積極的な応募推薦をお待ちしております。

## 2017年度林業遺産 登録No.24～31 所在地図



# 2017年度林業遺産選定結果と主な内容

登録番号	対象名	分類・形式	成立年代	所在地	所有・管理者	説明
24	矢部村における木馬道と木場作林業	資料群、道具類、建造物	明治43(1910)～昭和35(1960)年	福岡県八女市矢部村	杉のふるさと文化館	八女地方における主要な木材搬出方法であった木馬道の構造や搬出作業、村民生活を支えた木場作に関する道具類、資料群、開道記念碑。
25	我が国初の森林鉄道「津軽森林鉄道」遺構群及び関係資料群	搬出関連、資料群	明治42(1909)年	青森県青森市、五所川原市、東津軽郡外ヶ浜町、同蓬田村、北津軽郡中泊町	東北森林管理局、中泊町博物館、青森市森林博物館	動力車による牽引を前提とする森林鉄道で日本で最初に建設されたもので、全森林鉄道の中で最長を誇る。
26	旧帝室林野局木曾支局庁舎および収蔵資料群	建造物、資料群	昭和2(1927)年(建造物)、明治期～昭和初期(資料群)	長野県木曾郡木曾町福島5471-1	木曾町	近代の木曾地域における林野行政を知る上で重要な建築物である旧帝室林野局木曾支局庁舎「御料館」および林野行政や森林文化を伝える史資料、道具類、写真・絵葉書。
27	日本近代砂防の祖・諸戸北郎博士の設計による溪間工事建造物群	建造物	昭和4(1929)～昭和11(1936)年	愛知県犬山市塔野地大畔	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	山地からの土砂流出を抑制することを目的として諸戸北郎博士によりデザインされたコンクリート放水路付土堰堤などの溪間工事建造物群。
28	遠山森林鉄道の資料および道具類・遺構群	搬出関連、資料群、道具類	昭和17(1942)年	長野県飯田市南信濃、上村	木沢地区活性化協議会、夢をつなごう森林鉄道の会、飯田市上村自治振興センター、上村振興公社、飯田市	地元有志によって保全されてきた遠山森林鉄道に関する写真や資料、貨車・客車、隧道や橋梁、石積み擁壁などの遺構を残す線路跡。
29	海部の樵木林業	林業発祥地、林業景観、林業跡地、林業技術体系	寛文年間(1661-1673年)	徳島県海部郡美波町、牟岐町日和佐川、牟岐川各流域	樵木林業研究会	徳島県海部郡において広く実施されてきた常緑広葉樹の択伐林施業で、択伐矮林更新法や、魚骨状の伐採・搬出方法に特徴がある。
30	進徳の森と中村弥六の関連資料群	資料群、林業記念地	明治期～大正期	伊那市高遠町	伊那市	中村弥六自身が農林省林業試験場から外国産樹木の苗木を移植した「進徳の森」と高遠町図書館が収集した中村弥六の林業関連文献。
31	北山林業	林業景観、建造物、林業体系、資料群	室町時代(応永年間1394-1429年)	京都市北区中川北山町ほか	京都北山杉の里総合センター、京都府北山杉育林振興協議会ほか	台杉仕立てや一代限り丸太仕立ての林業体系が形成する景観や杉丸太小屋などの建造物、一連の関連資料。

# 全林業遺産(2013～2017年度)リスト

年度	No.	対象名	都道府県
2013	1	「太山の左知」をはじめとした興野家文書	栃木
	2	旧木曾山林学校にかかわる林業教育資料ならびに演習林	長野
	3	全国緑化行事発祥の地	茨城
	4	木曾森林鉄道(遺産群)	長野
	5	四国森林管理局保存の大正～昭和初期の林業関係写真	高知
	6	飯能の西川材関係用具	埼玉
	7	いの町の森林軌道跡	高知
	8	東京大学樹芸研究所岩樟園クスノキ林	静岡
	9	大学演習林発祥の地:浅間山(千葉県鴨川市)	千葉
	10	猪名川上流域の里山(台場クヌギ林)	兵庫
2014	11	天然林施業実践の森「東京大学北海道演習林」	北海道
	12	飢肥林業を代表する弁甲材生産の歴史	宮崎
	13	吉野林業	奈良
	14	越前オウレンの栽培技術	福井
2015	15	若狭地域に継承された 研磨炭の製炭技術	福井
	16	若狭地域の里山における熊川葛の生産技術	福井
2016	17	伊豆半島の森林史に関する資料	静岡
	18	小石原の行者杉	福岡
	19	屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡	鹿児島
	20	蒸気機関車「雨宮21号」と武利意・上丸瀬布森林鉄道遺構群	北海道
	21	初代保護林 白髪山天然ヒノキ林木遺伝資源保存林	高知
	22	木曾式伐木運材図会	長野
	23	足尾における治山事業による緑の復元	栃木
2017	24	矢部村における木馬道と木場作林業	福岡
	25	我が国初の森林鉄道「津軽森林鉄道」遺構群及び関係資料群	青森
	26	旧帝室林野局木曾支局庁舎および収蔵資料群	長野
	27	日本近代砂防の祖・諸戸北郎博士の設計による溪間工事建造物群	愛知
	28	遠山森林鉄道の資料および道具類・遺構群	長野
	29	海部の樵木林業	徳島
	30	進徳の森と中村弥六の関連資料群	長野
	31	北山林業	京都

# 全林業遺産(2013～2017年度)地図

- 2013年度
- 2014年度
- 2015年度
- 2016年度
- 2017年度

